

Ⅰ. 新・長岡京市観光戦略プラン策定の趣旨

1. 計画策定の目的

長岡京市は、かつて都が置かれた王城の地として、歴史と伝統文化、そして、西山の豊かな緑に育まれてきたまちです。

近年は、京都と大阪という二大都市の中間に位置する地の利と、交通網の発達にも恵まれ、優良な企業の立地が進むとともに、良好な住環境を備えた都市として発展してきました。

また、これまで、長岡京市では豊かな歴史資源を中心に、多くの来訪者を迎えてきました。しかし、近年、全国的に観光のあり方は、物見遊山から交流や体験を楽しむものに変化し、多様化しています。

また、まちづくりにおける観光の意味も、住民の地域への誇りの醸成や、地域産業への寄与等、多様になるとともに、その重要性を増しています。

このような社会環境の変化の中、長岡京市の観光のあり方を捉え、今後の観光振興に関わる総合的な指針を明らかにし、戦略的な取組みを展開していくことが求められています。

そのため、長岡京市では、観光振興に取り組む意義を、集客や消費行動の喚起による地域経済の活性化と、地域の魅力の創出と捉えた上で、観光振興に係る今後の方針を明確にし、体系的に施策を示す、「新・長岡京市観光戦略プラン」を策定します。

2. 計画の期間

本プランの目標年次は、平成 29 年 4 月～令和 9 年 3 月の 10 年間とします。

3. 計画の位置づけ

本プランは、平成 28～令和 12 年度を計画期間とする、「長岡京市第 4 次総合計画」に基づき作成されるものです。

第 4 次総合計画は、『住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京』を基本構想のキャッチフレーズとして、「長岡京市が目指すひととまちの姿」を描いており、第 2 期基本計画では、観光に関わる産業分野の 5 年後の目標として「地域内の経済循環が高まり、さらなるまちの魅力・活力の創出により市内外からの新たな交流が生まれている」が位置付けられています。

また、関連計画として平成 28 年度に策定された「長岡京市シティプロモーションガイドライン」では、「住みたい」と思ってもらうきっかけとしての「訪れたいまち」を目指していくことが描かれている他、福祉や都市整備、交通等の各分野で、観光に関連した施策が展開されています。

本プランは、これらの上位・関連計画と連携し、コンセプトや取組内容について合致した方向での推進を図っています。

